

イスラーム地域研究機構の活動報告

2016 年度をふりかえって

早稲田大学イスラーム地域研究機構は、文部科学大臣認定（2008年認定、2013年再認定）の共同利用・共同研究拠点（イスラーム地域研究拠点）として、イスラーム地域の特性や他地域との関係を解明するための研究事業を推進してまいりました。2016年度より、「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業（イスラーム地域研究拠点）機能強化支援」（2016年～2018年度）の採択を受け、イスラーム圏の研究者と共同して研究成果を創出する仕組みづくりを目指してまいります。早稲田大学イスラーム地域研究機構では、以下のような活動を行っております。

1. 公募研究

- 「前近代イスラーム社会知識人再考：知の多様化とローカル性を中心に」
- 「イスラエル／パレスチナの政治・経済・国際関係の総合的研究」
- 「自然科学的手法によるイスラーム文化形成期の技術革新の解明：エジプト出土のファイユーム陶器を事例に」

2. イスラーム地域研究コロキウム

3. 講演会・セミナー・ワークショップ

4. 「前近代アラブ圏における文書行政と財務官僚」研究会

5. 日本学術振興会拠点形成事業B. アジア・アフリカ学術基盤形成型

6. アジア・ムスリム研究所の活動

7. マイクロフィッシュ資料の共同利用

8. 大学間連携等による共同研究

9. その他の活動

10. 出版活動

（※開催場所について特に記載のないものは、早稲田大学にて実施されたイベントです）

1. 公募研究

早稲田大学イスラーム地域研究機構では、文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業（イスラーム地域研究拠点）機能強化支援」の採択を受けて共同研究課題の公募を行い、以下の公募研究を2016年度より開始いたしました。

■「前近代イスラーム社会知識人再考：知の多様化とローカル性を中心に」（代表：佐藤健太郎・北海道大学）

第1回研究会（2016年10月16日）、第2回研究会（2016年11月2日）、第3回研究会（2016年12月25～

27日）、第4回研究会（2017年1月21日）、第5回研究会（2017年2月27日）

■「イスラエル／パレスチナの政治・経済・国際関係の総合的研究」（代表：濱中新吾・龍谷大学）

第1回研究会（2016年10月2日）、第2回研究会（2017年3月18日）

■「自然科学的手法によるイスラーム文化形成期の技術革新の解明：エジプト出土のファイユーム陶器を事例に」（代表：長谷川奏・早稲田大学）

第1回研究会（2016年11月4日）、第2回研究会（2017年3月18日）

■ 2016年度公募研究合同報告会 (2016年12月10日)

2. イスラーム地域研究コロキウム

早稲田大学イスラーム地域研究機構では、文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業（イスラーム地域研究拠点）機能強化支援」の採択を受け、旧「イスラーム地域研究セミナー」を「イスラーム地域研究コロキウム」と改称し、以下の研究会を実施いたしました。

■ 2016年7月7日

報告者：奈良玲子（東洋学園大学／放送大学）
題 目：「イラン、イラン州の自殺の実態報告」

■ 2016年11月25日

報告者：長谷部圭彦（早稲田大学）
題 目：「未刊行史料の刊行：Arşiv Belgelerine Göre Osmanlı Eğitiminde Modernleşme (İstanbul, 2014) の書評を中心に」

■ 2017年2月15日

報告者：佐藤秀信（外務省）
題 目：「現代イランの国民動員組織と政治社会：イスラーム革命防衛隊国民動員部門『バスイージ』の軌跡（1979–2016）」

■ 2017年3月2日

報告者：宇山智彦（北海道大学）
題 目：「中央アジアにおけるロシア革命再考」
コメント1：吉村貴之（早稲田大学）
コメント2：藤波伸嘉（津田塾大学）

3. 講演会・セミナー・ワークショップ

■ 公開講演会『中東怪異文学の世界』（2016年6月18日）

第1部 基調講演

鈴木郁子（トルコ文学）

「ケナン・フルシ・コライ：アナトリアにポーの世界を構築した作家」

藤元優子（イラン文学、大阪大学）

「海底の国、老婆の風：M・ラヴァーニール作品に見る湾岸民の怖れ」

山本薫（アラブ文学、東京外国語大学）

「バグダードのフランケンシュタイン：現代アラブのホラーな現実」

第2部 パネル・ディスカッション

司 会：福田義昭（アラブ文学、大阪大学）／
鈴木郁子／藤元優子／山本薫／東雅夫（アンソロジスト、文芸評論家）／
戸聡（アラブ・ベルベル文学、鹿児島大学）

※本講演会は、中東現代文学研究会ならびに科学研究費基盤研究(B)「現代中東における『ワタン(祖国)』的心性をめぐる文化表象の発展的研究」との共同主催により実施された。

■ M.ギルセナン教授特別講演会 (2016年10月10日)

講演者：Michael Gilson (NYU NY)

題 目：“Translation and Empire in the High Imperial Age in Asia, 1880–1914: Problems and Perspectives”

■ 国際ワークショップ “The Emerging Gulf

Region: Assessing the Field and Seeking New Possibilities” (2016年12月18日)

Opening Remarks

Keiko Sakurai (Waseda University)

Keynote Speech

Steven Wright (Qatar University)

“The Complex Dynamics of Evolving Insecurity and Risk in the Gulf Region: The Need for a Paradigm Shift in Gulf Studies Scholarship”

Session 1

Keiko Sakurai (Waseda University)

“Exploring Cultural Policies of Iran and the Arab Gulf States”

Matthew Gray (Waseda University)

“Emerging Trends, Debates, and Issues in

Gulf Political Economy Scholarship”

Session 2

Koji Horinuki

(The Institute of Energy Economics, Japan)

“Ad Politics: The Contemporary Political Relationship between the Ruling Family and Tribes in the UAE”

Kenichiro Takao

(Japan Society for the Promotion of Science)

“‘Religious Police’ in Changing Society: Hisba in Saudi Arabia and Others”

Yushi Chiba (Waseda University)

“Al-Jazeera and Qatar: Media as The Reflection of Sociopolitical Situation”

Hirotake Ishiguro

(Japan External Trade Organization)

“Accountability or Legal Mobilization? New Phase of Parliamentary Politics in Kuwait”

Takuya Murakami

(Middle East Institute of Japan)

“Burden Sharing or Withdrawal: Transformation of U.S.-GCC Military Relations”

■特別講演会「アメリカ大統領選後の湾岸情勢：イラン、アラブ諸国、サウジアラビアの視点も交えて」(2016年12月20日 於：ジェトロ本部)

開会挨拶・趣旨説明：福田安志（ジェトロ・アジア経済研究所）

開会挨拶：桜井啓子（早稲田大学）

講演者：Steven Wright（カタル大学）

演 題：「アメリカ大統領選挙後の湾岸情勢」

コメント1「イランの視点から」

鈴木均（ジェトロ・アジア経済研究所）

コメント2「アラブ諸国の視点から」

千葉悠志（早稲田大学）

コメント3「イエメンなど紛争国の視点から」

佐藤寛（ジェトロ・アジア経済研究所）

コメント4「サウジアラビアの視点から」

福田安志（ジェトロ・アジア経済研究所）

パネルディスカッション・質疑応答

※本講演会はジェトロ・アジア経済研究所と

の共同主催により実施された。

■G.メフラーン氏特別セミナー（2017年1月14日）

講演者：Golnar Mehran (Alzahra University)

題 目：“The Paradox of Tradition and Modernity in Shaping Iranian Women’s Educational Experience”

4. 「前近代アラブ圏における文書行政と財務官僚」研究会

早稲田大学イスラーム地域研究機構では、今年度より前近代アラブ圏における文書行政と財務官僚に関する研究会を開始いたしました。本研究会は、マムルーク朝（1250–1517）期エジプトの百科事典家ヌワイリーの著作『学芸の究極の目的』を基礎史料として、王朝の軍事・財務行政の中核を担った官庁や、土地をはじめとする財源の管理のありかたを読み取り、体系的に理解していくことを目的としています。基礎史料は前近代エジプトのものですが、議論では他の地域や時代との比較の視点も重視しながら、資料の解読と議論をおこないました。

第1回研究会（2016年10月26日）、第2回研究会（2016年11月30日）、第3回研究会（2016年12月21日）、第4回研究会（2017年1月18日）、第5回研究会（2017年2月10日）

5. 日本学術振興会拠点形成事業B. アジア・アフリカ学術基盤形成型

早稲田大学イスラーム地域研究機構は、2014年度に日本学術振興会研究拠点形成事業（B.アジア・アフリカ学術基盤形成型）に採択され、マラヤ大学アジア・ヨーロッパ研究院（AEI）およびニューヨーク大学アブダビ校（NYU AD）人文学部との協力関係のもと、研究交流課題「多文化環境下における価値の交渉：イスラームとの共生に

向けた発展的研究」を推進してまいりました。本研究は、2011年度から2013年度までの日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業「イスラームと多元文化主義：イスラームとの共生に向けた基礎的研究」を基礎とした発展的研究です。本事業の最終年度に当たる2016年度には、以下の活動を行いました。

■ M. クリムケ氏特別セミナー (2016年10月14日)

報告者：Martin Klimke (NYU AD)

題 目：“The Global Network University: A View from New York University Abu Dhabi”

■ 国際ワークショップ “Workshop on CROSS-

BORDER DISCOURSES ON HALAL” (2016年11月12

日 於：マラヤ大学)

Paper 1

Md Nasrudin Md Akhir (Former Executive Director of the AEI) & Siti Rohaini Kassim (Former Deputy Executive Director of the AEI)

“Between Moot and Reality: Acceptance of Halal in Malaysia and Japan”

Paper 2

Roslan Osman

(Senior Manager, Nippon logistics)

“Halal Logistics Cross-Borders”

Paper 3

Nurulhuda Nurdin

(Lecturer, Univesiti Teknologi MARA)

“Virtual Inspection in Halal Certification—A Reality or Fantasy?”

Paper 4

Takafumi Hashimoto

(Director, JL Connect Malaysia Sdn Bhd.)

“Current Issues of Halal Industry and Tourism in Japan with My Practice and Observation”

Paper 5

Yukari Sai

(Adjunct Researcher, Organization for Islamic Area Studies, Waseda University)

“How to Make Halal Options: A Case Study

of a University Canteen in Japan”

■ 国際セミナー “Islam and Multiculturalism: History, Challenges and Prospects” (2016年12月3～4日)

12月3日

Opening Remarks:

Keiko Sakurai (Waseda University)

Keynote Speech:

Omar Farouk (Universiti Sains Malaysia)

“Islam and Multiculturalism: Challenges and Prospects”

Panel 1: Media, Language and Identity

Chair: Wakako Kumakura (Waseda University)

Panel Participants:

Yushi Chiba (Waseda University)

“From ‘Asset’ to ‘Too-Heavy Legacy’? Al-Jazeera and Its Transformation after 2011”

Azirah Hashim (AEI)

“Language Contact’ Arabic in the Media in Malaysia”

Marzia Balzani (NYU AD)

“Sameness and Difference: Ahmadiyya Islam in Colonial, Post-Colonial and Global Contexts”

Panel 2: Multicultural Trend in Islamic Sciences

Chair: Ryuichi Sugiyama (Waseda University)

Panel Participants:

Nathan Sidoli (Waseda University)

“Translations of Greco-Roman Mathematical Sciences in the Abbasid Period”

Taro Mimura (Hiroshima University)

“The Importance of Indian Astronomy in the Formation of Islamic Astronomy”

Robert Morrison (Bowdoin College)

“An Economy of Knowledge in the Eastern Mediterranean around 1500”

Special comment:

Justin Stearns (NYU AD)

※ Read by Martin Klimke

12月4日

Panel 3: Student Movement: Past and Present

Chair: Yushi Chiba (Waseda University)

Panel Participants:

Martin Klimke (NYU AD)

“The Global Sixties and the Middle East”

Keiko Sakurai (Waseda University)

“Transformation of Student Movements in Post-Revolutionary Iran”

Panel 4: Politics and State Building

Chair: Kiyohiko Hasebe (Waseda University)

Panel Participants:

Sadashi Fukuda (IDE-JETRO)

“Tribes and State Formation in Countries of Arabian Peninsula”

Mikiya Koyagi (NYU NY)

“The Construction of the Trans-Iranian Railway (1927-38) and Nation-Building”

Matthew Gray (Waseda University)

“Branding and State-Building in the Arab Gulf States: The Cases of Qatar and Dubai”

Patrick Ziegenhain (AEI)

“Islam and Nation-Building in Malaysia and Indonesia”

Panel 5: Transnational Islam

Chair: Mikiya Koyagi (NYU NY)

Panel Participants:

Hirofumi Tanada (Waseda University)

“Islamic Policy and Perceptions of Islam in Wartime Japan”

Md Nasrudin Md Akhir (University of Malaya)

“Halal Industry in Malaysia: Challenges and Future Direction”

Schuyler Marquez (NYU NY)

“Harmonizing Halal: Forms of Evidence and Verification Strategies on Zabihah.com”

■ **R. モリソン教授特別セミナー** (2016年12月10日)

報告者: Robert Morrison (Bowdoin College)

題 目: “The Afterlife of Homocentric Astronomy in Islamic Science”

6. アジア・ムスリム研究所の活動

■ **第1回アジア・ムスリム研究会** (2016年10月15日)

報告者: 小島宏 (早稲田大学)

題 目: 「西欧ムスリム移民2世のハラール食品消費行動の関連要因」

報告者: 竹下修子 (愛知学院大学)

題 目: 「ハラール認証に頼らないムスリム観光客誘致戦略: 飛騨高山の事例から」

■ **第9回『マスジド (モスク) 代表者会議』有識者会**

議: 多文化共生とムスリム・コミュニティ (2017年2月11日)

開会挨拶: 店田廣文 (早稲田大学多民族・多世代社会研究所長)

第1部: 日本社会における多文化共生とムスリム・コミュニティ

第2部: ムスリム・コミュニティ内部における多様性と多文化共生

閉会挨拶: 岡井宏文 (早稲田大学人間科学部)

7. マイクロフィッシュ資料の共同利用

早稲田大学イスラーム地域研究機構では、共同利用・共同研究の支援体制の一環として、イスラーム地域研究機構資料室や共同研究室に、図書資料やマイクロフィルム・リーダー、大判プリンタなどの施設やなどを設置し、研究者の利用に供しています。施設については機構ウェブサイト (<https://www.waseda.jp/inst/ias/research/islamic/service/>) をご覧ください。

特に貴重な資料として、マイクロフィッシュ資料『英国図書館所蔵アラビア語写本集成』があります。全8部、合計15000点近くのアラビア語写本で構成されるこの集成は、法・科学・哲学・文学・歴史などの様々な分野の研究者にとって利用価値の高いコレクションとなっています。当機構では、カタログを元に全セクションのデータベース化を行いました。上記ウェブサイトからも閲覧が可能です。

セクションA：聖典クルアーンとクルアーン学

- A.1. 聖典クルアーン
- A.2. クルアーンの朗読と朗誦
- A.3. 注釈
- A.4. クルアーン関連文献

セクションB：ハディース学

セクションC：カラム（イスラーム神学）

セクションD：イスラーム法学（フィクフ）

- D.1. イスラーム法
- D.2. 法学派（a～e：スンナ派四法学派及びシーア派）
- D.3. 相続
- D.4. その他

セクションE：神秘主義と敬虔

セクションF：祈りと説教

セクションG：哲学

セクションH：倫理と政治

セクションI：伝記

- I.1. ムハンマドの伝記
- I.2. 総記

セクションJ：歴史

セクションK：言語（アラビア語）

- K.1. アラビア語文法
- K.2. 辞書学・文献学
- K.3. 修辭学・韻律学

セクションL：文学

- L.1. アラビア詩
- L.2. アラビア散文
- L.3. 選集・その他の文学作品
- L.4. 官能的な作品

セクションM：芸術と科学

- M.1. 百科事典
- M.2. 原始科学
- M.3. 医学
- M.4. 数学
- M.5. 天文学
- M.6. 地理学
- M.7. 諸芸術・諸科学

セクションN：パーブ教・バハーイー教文献

セクションO：ドゥルーズ派文献

セクションP：キリスト教文献

セクションQ：ユダヤ教文献

セクションR：その他の文書

その他のコレクションについても名称のみ掲載します。併せて皆様のご利用をお待ちしております。

- ・シカゴ大学所蔵シャイヒー派写本コレクション

- ・米国国立公文書館所蔵 米国国務省機密文書 セントラル・ファイル：エジプト事情（1950–1954）“Confidential U.S. State Department Central Files. EGYPT: Internal Affairs and Foreign Affairs, 1950-1954”
- ・呉海鷹主編『回族典藏全書』（全235冊、甘肅文化出版社・寧夏人民出版社）

8. 大学間連携等による共同研究

早稲田大学イスラーム地域研究機構と上智大学イスラーム研究センターでは、2013年度に締結された「イスラーム地域研究に関する学術協定書」に基づき、2014年度より「アジア・アフリカにおける諸宗教の関係の歴史と現状」を進めております。2016年度には、以下の研究活動を行いました。

- 「アジア・アフリカにおける諸宗教の関係の歴史と現状」第1回研究会（2016年6月18日 於：上智大学）
黒田祐我『レコンキスタの実像』（刀水書房・2016）書評会
書評者：野口舞子（お茶の水女子大学大学院博士後期課程）

- 「アジア・アフリカにおける諸宗教の関係の歴史と現状」第2回研究会（2016年11月12日 於：上智大学）
報告者1：溝渕正季（名古屋商科大学）
題目：「宗派主義というアポリア：現代レバノンにおける政治と宗教」
報告者2：正木響（金沢大学）
題目：「セネガル共和国のムリッド教団：概要とそのグローバル展開の動向・意義」

9. その他の活動

以下は当機構との共催のもとで行われた各種研

究活動です。

■「アラブ・イスラーム哲学における唯物論的諸傾向」第31回研究会 (2016年7月21日)

■講演会「無名の兵士：オスマン帝国における軍事的エトスと市民権の形成 (1792-1918)」(2016年7月23日)

司 会：吉澤誠一郎 (東京大学)

開会挨拶：谷口眞子 (早稲田大学)

報告者1：小松香織 (早稲田大学)

題 目：「トルコの基礎知識レクチャー」

報告者2：ギュルテキン・ユルドゥズ (イスタンブール大学) (代読による講演)

題 目：「無名の兵士：オスマン帝国における軍事的エトスと市民権の形成 (1792-1918)」

内容説明：小松香織

コメント：小原淳 (和歌山大学)

題 目：「オスマン帝国の軍制改革と近代化への問い：ドイツ史の視点から」

パネルディスカッション：吉澤誠一郎、小松香織、長谷部圭彦、小原淳、西望広望、鈴木直志

主 催：科研基盤 (B)「軍事史的観点からみた18～19世紀における名誉・忠誠・愛国心の比較研究」

■国際シンポジウム「軍事的エトスの近代史」

(2016年7月24日)

司 会：丸畠宏太 (敬和学園大学)

開会挨拶：谷口眞子 (早稲田大学)

報告者：原田敬一 (佛教大学)

題 目：「『武士道』はなぜ生き残ったのか」

報告者：池田嘉郎 (東京大学)

題 目：「ロシア革命は兵士を市民にしたのか」

報告者：小松香織 (早稲田大学)

題 目：「トルコの基礎知識レクチャー」

報告者：ギュルテキン・ユルドゥズ (イスタンブール大学/トルコ近代史)

題 目：「ラスト・イエニチェリ：近代戦争期におけるオスマン/トルコの軍事的エ

トスの転換 (1826～1927)」

内容説明：長谷部圭彦 (早稲田大学)

パネルディスカッション：丸畠宏太、小松香織、長谷部圭彦、原田敬一、池田嘉郎

主 催：科研基盤 (B)「軍事史的観点からみた18～19世紀における名誉・忠誠・愛国心の比較研究」

■「近現代トルコにおける政軍関係」研究会 (2016年7月25日)

報告者：岩坂将充 (同志社大学)

題 目：「現代トルコの民主政治と政軍関係：政府・軍・市民の観点から」

主 催：科研基盤 (B)「軍事史的観点からみた18～19世紀における名誉・忠誠・愛国心の比較研究」

■企画展「エジプトのイスラーム都市を掘る：日本調査隊によるフスタート遺跡の発掘成果」(2016年

9月17日～10月10日 於：横浜ユーラシア文化館)

〈関連講座〉(2016年10月1日)

講 師：長谷川奏 (早稲田大学)

題 目：「イスラーム世界の都市生活：ナイルのほとりの伝統と技術革新」

講 師：真道洋子 (東洋文庫)

題 目：「フスタート遺跡出土遺物からみたイスラームと異文化」

主 催：横浜ユーラシア文化館

■「コプト・イスラーム物質文化研究会」

第10回研究会 (2016年9月22日 於：横浜ユーラシア文化館)、第11回研究会 (2016年11月20日 於：国士舘大学)

■日本学術会議公開シンポジウム「地域研究の意義を考える」(2016年10月8日 於：日本学術会議)

趣旨説明：西崎文子 (学術会議第一部会員 東京大学大学院総合文化研究科教授)

第1部：地域研究からの問い

武内進一 (学術会議連携会員 JETROアジア経済研究所地域研究センター長)

「日本の地域研究：その展開、課題、そ

して可能性」

桜井啓子 (学術会議連携会員 早稲田大学国際学術院教授)

「地域を語る：共感と反感のはざまで描かれてきたイラン像」

酒井啓子 (学術会議連携会員 千葉大学法政経学部教授)

「地域研究者は戦争にどう向き合うか」

第2部：地域研究の実践と理論

石澤良昭 (上智大学前学長 アジア人材養成研究センター所長)

「文化遺産の修復作業を通じた平和構築と文化復興：カンボジアの事例から」

吉村真子 (学術会議連携会員 法政大学社会学部教授)

「地域研究の視点から見る労働：グローバル化、東南アジア、マレーシア」

山越言 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科准教授)

「アフリカ自然保護の現場が要請する地域研究アプローチ：京大のアフリカ研究60年の経験から」

佐藤仁 (東京大学東洋文化研究所教授)

「地域研究と理論形成」

コメント：

高見澤磨 (学術会議連携会員 東京大学東洋文化研究所所長)

木畑洋一 (学術会議連携会員 成城大学法学部教授)

総括：宮崎恒二 (学術会議第一部会員 東京外国語大学名誉教授)

主催：日本学術会議地域研究委員会・地域研究基盤整備分科会

■ G. メフラーン氏 (Alzakra University) 比較教育研究交流会 (2017年1月16日 於：京都大学)

主催：京都大学学際融合教育研究推進センター

■ 国際ワークショップ “Environment and Regional Society in Egypt: Focus on Buhayra Region”

(2017年1月20日 於：上智大学)

Session 1: Why Buhayra?

Hiroshi Kato (Hitotsubashi University) &

Erina Iwasaki (Sophia University)

“From the Modern Perspective”

Wakako Kumakura (Waseda University)

“From the Medieval Perspective”

So Hasegawa (Waseda University)

“From Pre-Islamic Perspective”

Session 2: Stuart Borsch

“The Environment and the Commons in the Nile Delta Province of Buhayra, 641-1517 CE”

Comments and Discussions:

Tadaharu Ishikawa

(Tokyo Institute of Technology)

Mitsuteru Irie (Miyazaki University)

Daisuke Igarashi (Chukyo University)

Organizer: Institute of Asian, African, and Middle Eastern Studies, Sophia University

■ Virtual Heritage Cairo 1st International

Conference “Sustaining Heritage in the Digital Age” におけるパネルセッション “Visualizing the Time and Space Surrounding Water: Connecting Water Heritage to Historical Networks and Space under the Muslim Rulers in Medieval Times”

(2017年2月20日 於：エジプト考古省)

司会・主旨説明：Naoko Fukami (日本学術振興会カイロ研究連絡センター)

パネリスト1：Naoko Fukami

題目：“Water Heritage of Medieval Muslim Monuments in Greater Delhi”

パネリスト2：Salwa F. Elbeih and El-Sayed A. Zaghloul (National Authority for Remote Sensing and Space Sciences, Egypt)

題目：“Least Cost Path and Accessibility Map for the Ancient Egyptian Pilgrimage Track South Sinai, Egypt Using Remote Sensing and GIS”

パネリスト3：Wakako Kumakura (早稲田大学)

題 目：“Finding the Banks: Visualizing the
Medieval Irrigation System in the Nile
Delta”

パネリスト4：Mohamed Ahmed Soliman
(Ministry of Antiquities, Egypt)

題 目：“Virtual Reality and Islamic Water System
in Cairo: Challenges and Methods”

主 催：Nottingham Trent University, Queen’s
University Belfast, University of
Birmingham, State Ministry of Antiquities
in Egypt, National Research Institute of
Astronomy & Geophysics (NRIAG) &
University of Wolverhampton

■日本中央アジア学会年次大会公開パネルセッション「交通・交易史の新展開と中央アジア地域研究」

(2017年3月26日 於：KKR江ノ島ニュー向洋)

司 会：秋山徹 (早稲田大学)

パネリスト1：早川尚志 (京都大学)

題 目：「モグール・ウルスの駅伝制とその後：
南遷前後の事例比較による一考察」

パネリスト2：塩谷哲史 (筑波大学)

題 目：「18-20世紀初頭の中央アジア＝ロシ
ア間の隊商交易」

パネリスト3：渡邊三津子 (奈良女子大学)

題 目：「カザフスタン南部における青果物の
流通」

コメント1：小沼孝博 (東北学院大学)

コメント2：梅村坦 (中央大学)

主 催：日本中央アジア学会

10. 出版活動

■『イスラーム地域研究ジャーナル』9号 (2017年3月
31日刊行)

※本誌は機構ウェブサイトから電子版の閲覧・
ダウンロードが可能です ([https://www.waseda.
jp/inst/ias/publication/journal/](https://www.waseda.jp/inst/ias/publication/journal/))。